



平成21年3月13日 NO17 評価特集号

京都市立室町小学校 校長 倉中 増夫

(075)431-0358 Fax(075)431-0359

学校 HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/muromachi-s/>

1月21日に配布しました「学校アンケート」にはたくさんの方々にご協力いただきありがとうございました。児童数 272人に対して、アンケート提出数は 260枚で、回収率は96%でした。平素から、学校教育にご協力を願っていますが、非常に高い回答率となり、大変有り難く思っています。

さて、集計の結果がでましたので、お知らせいたします。自由記入欄にもたくさんご意見をいただきました。すべてのご意見を全教職員で読ませていただきました。すべてのご意見を掲載することを原則にしていますが、内容的に差し控えたものもあります。御了承ください。

- 学校や学級の実践として評価して頂いている項目
- まだまだ課題と考えられる項目
- 要望やこのようにあってほしいという願いの項目

- 学校として、今考えられる改善策

< 学校生活全般 >

一年生後半になり、今まで出来なかった事（勉強や家庭での習慣）が身につくようになり少し、成長したと思います。

入学してもうすぐ一年経ちますが、学校にもお友達にも慣れ、仲の良い子もできて、とても楽しそうに登校して行きます。提出物や忘れ物（学校からの持ち帰りの物）がまだきちんと自分で出来ない様子に少し焦りを感じることもあります。優しい先生のおかげで萎縮することなく過ごせているようです。このまま、もう一年先生に受け持ってもらえたら、安心して有り難いです。休み時間では、外で学年関係なく元気に仲良く遊べていて、すばらしいと思います。

運動場で遊んでいる様子を見ると、お書きいただいたように高学年と低学年がいっしょになって遊んでいる場面を見かけます。高学年の子どもたちが低学年の子どもたちと遊んでいるのは何とも微笑ましいものです。

いつも親切にご指導いただいております。子どもも毎日楽しく学校に通っておりますし、何も心配はしておりません。ただ、親としてはもう少し自分で何をすべきか、次どうするか、時計を見ながら計画的に動いてほしいと思うのですが、なかなかそうはいかないのが現状です。学校では「考える力」を養うよういろいろ取り組んで下さっておりますので、家でもしっかりそうした力を伸ばせるよう親子共々に頑張っていきたいと思っております。

今は家庭の教育力なくして、子どもの学力向上は望めません。書いていただいたように家庭でもいっしょに「考える力」を養う取組をしていただけると大きな力となって、子どもたちが成長していくことと思っております。

お友だち関係に悩むことのない小学校生活を送れたら・・・と思っております。皆が発言できる場と、一人一人の声を聞き届けていける学校であってほしいと考えます。

一年生のクラスは人数が多いですが、一人一人を大変丁寧にご指導頂いて、とても安心ですし、大変有り難く思っております。また行事なども多く、子どもも日々楽しく、常に目標を持って生き生きと学校生活を過ごしております。

中学の姉がいますが、クラスでもめ事があったりして子どもも親もしんどい思いをしています。小学校の時はこういう時、すばやい対応をして下さり解決に時間がかかっていなかったように思います。先生方には有り難かったなあとつくづくこの頃思います。児童数が少ないこともあるかもしれませんが、一人一人目が届いている室町小だなあと思っております。

いい先生、いい友だちに恵まれて楽しく学校に通っている様です。楽しく明るく育ててほしいと思っている父としては、有り難く私も室町OBですが、今後も地域の室町校、みんなの室町校、安心して子どもが学べる室町校として、継続できるようよろしくお願い致したいと存じます。

下の学校の対応とも関わってくると思いますが、一人一人の子どもを大切にします。室町校がもっとも大切にしていることだと思っております。学校評議員の皆様を始め、地域の方々も学校の教育活動の大きな支えになっております。

勉強が得意な子、運動が得意な子、図工が得意な子、色々な場面で子どもたちが輝ける学校であってほしいと願います。

学校の教育，学習面，とても力を入れていただき，感謝しております。毎日の宿題プリント，音読カードも作っていただいているので，家に帰ってからも復習が出来ていい習慣になっています。

楽しく学校生活を送っています。週予定の一言欄を通して子どもの家庭での生活や困っていることなど，担任の先生との意志疎通ができて助かっています。

子どもが学校であったことをほとんど話してくれないだけでなく、めんどくさがりやになりつつあることも困っています。もうやめさせたのですが、教科書を学校に置きっぱなしだったことも。持ち物をメモするのが面倒で書かずに忘れることもあります。冬休み明けには学校に行くのさえ、めんどくがり、ヒヤヒヤしました。

楽しく学校生活を送られるのは、お友達はじめ学校の先生方のおかげと感謝しております。これからも、学校でしか得られない経験を通して、自信をつけ、色んな事にチャレンジしていってほしいと思います。ご指導よろしくお願い致します。

私の小学生時代と違い，勉強だけではない，取り組みが楽しいなあと思います。子どもも好奇心いっぱい、イキイキと地域の事などを学習したり・・・勉強も大切ですが，その他の色んな事を吸収して，成長してほしいです。

今の子どもたちは，様々な体験が不足しています。したがって，様々な体験を学習の中に入れながら，学ぶべき学習の形態を取っていきます。例えば，3年生社会科では，「昔の暮らし」を学習します。七輪の使う体験的な活動を通して，昔の人の知恵を学んでいきます。また，PTA・地域の行事などたくさんある学校だと自負しています。

学校へは毎日楽しく登校しています。担任の先生もいつも子どもの事を考えていただいて，有難いと思っています。学校ではよくケンカをして先生方にとめていただいている申し訳なく思っています。どうぞよろしくお願い致します。

随分前のことですが、7月の学校最後の登校日の午後、個人懇談会へ行くために学校へ行くと、校門のところで、忘れ物を取りに来て帰る1年生か2年生にバッタリ会いました。「こんにちは」と子どもの方から先に挨拶してもらい、とても気持ち良かったです。更に2・3m進んだところで、手に持っていたプリントが1枚ヒラリと落ちたのに気付いていない様だったので、「落ちたよ」と拾ってあげると、「ありがとうございました」とすぐに口から出てきたのに、びっくりです。自分の子どもだったら、きちんとと言えるかなと少し不安になりました。ちょっとした一言ですが、とても気持ち良い1日でした。

家庭と学校との両方で、大人が見本・手本となり、子どもが学んでいく、そんな大切さを知りました。

子どもの挨拶のことなど、ほめていただきありがとうございます。ただ、お書きいただいたような挨拶ができるような子どもはまだまだ少ないように思います。夏休みや冬休みなど、長期休業の後、PTAの役員さんに「挨拶運動」をしてもらっていますが、元気よく挨拶ができる子どもは少ないと思います。挨拶が元気よくできる子どもを育てる取組は、永遠の課題のようです。

先生や他の大人とも他の子どもとも、お互いにちゃんと挨拶し、きちんと会話する雰囲気作り・・・大人と大人の話し方をするなどの努力をしていきたいと思っています。

高学年になると、友達との関係が難しくなってくる中で、「目に見えないいじめ」など心配です。家庭での様子もしっかりと注意しますが、先生方も日々ご留意頂いているとは存じますが、毎度様子の変化など見て頂けたらと思います。

私自身の経験ですが、どんなにいいクラスでも時として、心のアンテナをしっかりとっていないと時として、友だちをいじめたり、傷つけたりする言動が見られることがあります。この場面を見逃さない、すぐに指導・対応することを今一度教職員にも意識させていきたいと思っています。

毎日楽しんで学校に通っています。これからも宜しくお願い致します。

子供たちのやる気，努力を認め，一緒にがんばって下さってありがとうございます。一生懸命やっても必ず良い結果が生まれるとは限らないその厳しい壁に当たった時も，友達や先生がいてくれたから，また次の目標に向けてがんばり続けられたと思います。室町小学校に通えて良かった，夢中になれるものに出会えて良かったと感謝しています。子供の良い面が，グーンと伸びた事を実感でき，うれしいです。

きっと6年生の陸上のことを書いていただいているのかと推察いたします。今年の6年生は，学年一丸となって大文字駅伝支部予選会突破を目指し練習を積んできました。6年担任と陸上部指導者も納得できるレベルまで，子どもたちは努力し，支部予選突破を疑いませんでした。しかし，予選会で2位までに入ることができず，本大会出場は叶いませんでした。大会終了後の反省会で，1時間以上みんなで涙を流しました。大きな目標を失った6年生ですが，その後も朝練習や土曜日・月曜日の練習にほとんど参加しています。頭が下がるおもいです。この6年生の無念を晴らすべく，5年生はがんばっています。ただし，女子だけで男子のメンバーが全く集まりません。今は，完全な赤信号です。5年生男子の子どもたち，ぜひ来年度大文字駅伝出場を目指し，いっしょに練習していきましょう。保護者の皆様のお力添えもお願いします。

参観日やたくさんの行事に参加させていただいております。クラスのお友達や，同じ学年のお友達を見ていたり，接していたりして，明るくやさしい子供たちが多いと感じます。そのためか，みんな仲が良いように思います。参観日での授業中の様子をみても，同じ意見や考え方であっても，手をあげて発表しようと頑張っている子供が多いと思います。又，学校内ですれちがう時に，見知らぬ子供たちでもあいさつをしてくれることも多いです。先生や職員の方々のおかげでそのような子供たちに成長してくれていることをうれしく思っております。

いつも楽しそうに一日の話をしてくれます。誰々がどうだったとか，おもしろい事があったとか・・・6年生もあっという間に終わりを向かえそうです。何か小さな事でも良いので，心に残る事，友達と一つになれる事があれば良いなと思う今日この頃です。中学からの先生の指導もあり，不安な中に希望もあるようです。次のステップをうまくあがってくれればと思います。ありがとうございました。

室町小学校が烏丸中学校と小中連携を始めて4年目になりました。1年目2年目は副教頭が中学で社会科の指導を、3年目は木下教諭が体育科の指導を行いました。今年は小学校からの指導はなくなりましたが、中学からは4年間、継続して数学科・音楽科の指導に来ていただいています。ねらいは、お書きいただいたように小学校・中学校の段差をなくし、9年間の学力を保障するというものです。まだまだ不十分な面もあるかもしれませんが、中学校と連携を取りながら進めていきたいと思えます。

<学習面>

～全般～

他校の話を知っていると室町小学校での家庭学習の量や内容はしっかりしているものだと実感することがあります。

2年生も終わりに近づき、授業の内容もだんだん難しくなるにあたり、“しっかりと理解できたこと”“なんとなくわかった”こととの理解度の差が大きくなってきました。わかったつもりの問題はやはり応用などで、つまずいています。

教師は一人一人の子どもをしっかり評価し、どこでつまずいているのかを座席表などに書き込み、次の指導に生かすようにしています。引き続き、「しっかりと理解できる」ところまで指導を続けていきます。

勉強に対する意欲が無く、前に学んだことを久しぶりに復習するとほとんど覚えてなくて、一から教えないといけない状態です。苦手なことに対して、努力しようとせず「できなくても良い」みたいなことを言い、いくら言っても練習しません。学年が上がるほど不安です。

? 塾の宣伝や雑誌の記事にふりまわされてはいけないと思いつつ、「4年生になる前に中学・高校の進路を決めて準備しないといけない」等の記事を見るとドキドキします。自分は高校まで公立しか近くになく田舎で育ったので、公立も私立も国立も、中高一貫も近くにある状況にとどまっています。4年生以前は早いとして、一体子どもにとって最良なのは?としばらく悩むことになりそうです。

学習に対する意欲がないとか、将来のことなどについては、また担任と話してみてください。毎日子どもたちと向き合っている担任なら、きっといいアドバイスをしてくれると思えます。

入学して以来、毎年段階を踏んで、教え伝えて下さっている人権学習、子どもたちが偏見や疑問を持つ前に、学校生活や遊びの中にも自然な形で取り入れて下さっていることを、子どもを通じて知り感心しながら、拝見しています。私たちは子どものころは、もっと「勉強」という感じで、教えられた様な記憶があります。違う文化を知ること、自国の文化の良さを知ることにつながり、自分と立場の違う人のことを知ることで、自分に何が出来るかを考えさせてくれる、一人一人が違うし、違いをみとめることが一人一人を大切にするとということにつながることを、性差、国籍、障害などさまざまな切り口から教えて頂きありがたく思っています。

室町小学校は学力向上の取組で、特に算数科では書籍も出版し全国的に有名になってきました。しかし、お書きいただいたような人権学習も力を入れて指導しています。その一端をお示ししているのが毎年10月に行っている人権に関わる参観と懇談会です。各学年、例えば男女平等の観点、障害のある人に対する観点、日本におられる在日外国人の人に対する観点など、学年に合わせて指導するようにしています。これらの教育の基礎には道徳教育があります。

娘のことをていねいに熱心にご指導いただいて本当にありがたく思っています。また環境委員をさせて頂いて、子供自身もみんなと環境保全について話し合ったり、調べ発表したりし、大変よい経験をさせて頂き感謝しています。環境保全について、色々学び活動している子供を見習って、家族みんなも今まで以上にエコについて関心をもち始め、自分のできることからがんばろうと思っております。本当にありがとうございます。

様々な環境に対する取組の必要性から、2年前より環境委員会を立ち上げました。それまでは、高学年の5・6年生が他の委員会とかけ持ちで環境に対する取組を行っていました。今年環境委員会は、「水や紙などの資源を大切に」という基本的な啓発活動の他に、ひまわりの種から実際に、ひまわり油をとってみようというエコ活動を実践し、朝会の中で発信していきました。このような積極的な取組が認められ、室町小学校は「環境にやさしい学校」の認定を平成17年度より3年連続でうけています。またご家庭でも、エコ活動について話し合っただけならうれしいです。

以前、自由参観の時に、ALTの授業を参観させて頂いた時のことですが、スー先生にあてられた子の声が小さかったため、担任の先生が「Big Voice! Big Voice!」とおっしゃっていました。確かに英語をよく知らない子たちに、先生の意図を伝えるには大変わかりやすい表現とは思いますが、実際の英会話ではこのような言い方はしませんよね?(この場合、「Speak louder.」が最適だと思うのですが。)子供たちが英語に興味を持ち、スムーズに学習に取り組めるようにとの先生方のお考えは良くわかるのですが、せっかくネイティブスピーカーの先生に教えて頂くのですから、きちんと通じる英語でお願いしたいと思います。良くも悪くも子供たちはすぐに覚えてしまいますので。

小学校にも急に英語活動の授業が入ってきて、小学校の現場は混乱したのは事実です。小学校の教員は今まで全く英語には携わっていなかったのに白紙の状態から教えることになったのです。新指導要領を先取りする形で、今年度より5・6年生は年間35時間の授業を行っています。そのため、年間15時間の研修を校内で実施し、英語活動の授業力向上に努めています。ただ小学校では「英語」と言わず、「英語活動」と呼んでいるのはお書き願っているように興味をもって楽しく活動するというねらいが強いのです。担当の教員とALTの連携を深めながらよりよい英語活動について考えていきます。

夏の日差し対策をもう少し考えていただけたら有り難いです。つばの大きな赤白帽やたれ付き帽子、プールの際ラッシュガード着用、水着の自由選択などできればいいなあと考えています。

保健相談に行きました。子供の休み時間の様子など、よく見ていただいて、驚きました。先生方のたくさんの目で、子供たちは見守っていただいているんだと、とてもうれしく思います。

<安全面>

子どもが少なくなった昨今、学校への行き帰りがとても気になります。地域の方々にも働きかけて協力して頂けたらと思っています。での「開かれた学校づくり」というのはよく取り組んでもらっているとは思っていますが、それと同時に地域と共に「子ども安全」に取り組んでもらえたら安心です。挨拶は学校だけで行うものではなく、学校の行き帰りなどで、知っている方にもできるように育てたいです。その為には「知っている人」「知っていてくれる人」を増やすことも大切です。子どもの少ない現在だからこそ、切に願っております。

行事の度に室町学区全体で一体感があり、感心している。町ぐるみで子どもが守られている。比較的安心して町を歩かせることができるので有り難いです。

前にもお知らせしたと思いますが、室町老人クラブのご協力を得て、子どもたちの登下校時「室町クラブ」という名札をしてもらって家の前にたってもらうようお願いしています。また、お店をしていただいている地域の方は、子どもたちの登下校時店先に立って挨拶もしてもらっています。この場を借りて、感謝申し上げます。地域の方のお力もいただき「安心・安全」の町になっています。また、今年度に引き続き、来年度も下校時間を中心にスクール・ガードリーダーの方が学校周辺をパトロールしていただく予定です。

寺ノ内通と室町通のクロスするところで横断歩道があるのですが、信号が無いので、直線コースで車が烏丸通に出るため猛進してきます。京教付属小の正面玄関前の押しボタン式信号機みたいなものがあれば、子どもたちも横断しやすいだろうなあ・・・といつも思います。

寺ノ内通の横断歩道については、上京署の方に知らせておきます。登校時については交番の警察官が時々立っていただいています。

学校は設備面については、子ども達にとって万全であると思うが、放課後の時間帯においてはかなり甘いのではないかと、思います。

最後に、子供には、「健康」「安全」が大切とっております。特に、校内や登下校の安全面に、危機管理体制だけ、よろしくお願い致します。

いつもお世話になっております。大橋先生にもお話したので、聞いて下さっていると思いますが、週刊誌で子供が不審者に襲われないように、気をつけることや、大声を出す練習や、他の家に戸をたたいて助けを求める練習などが、書いてあったので、コピーをお渡ししました。学校全体で土日でもいいので、子供一人一人が意識して、練習しておくのと、していないのでは、いざという時に、全然ちがうと思います。6年生の子たちは、もうすぐ卒業ですので、3月までにこのような練習をしていただくとうれしいです。

いただいた資料をもとに、学校の方で指導させていただきます。

<学校の対応>

いつ行っても、校長先生も教頭先生も笑顔であたたかく迎えてくださることが、親としてもとてもありがたく嬉しいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

いつも子どもや親にまで、手厚い配慮などしていただき、感謝しています。先生方おつかれではないですか？と、日々気になっています。

先生方にはいつもあたたかくご指導頂き、深く感謝致しております。毎日楽しく登校する姿を見て、私どももたいへん嬉しく思っております。

小学校と初めてのかかわりをもつようになった親であることを念頭に置き、一個人の考えとして参考程度に受け取ってくだされば幸いです。教師が親に気を遣いすぎているように感じています。例えば、個人懇談会の時、先生から「来ていただきありがとうございます。」と言われ違和感を覚えました。子どもが一日の大半を過ごしている学校での日常を聞くための時間を割くのは親として当たり前なことだと思っています。このような時に来られない親に対しては、叱るくらいの態度で対応してほしいと思います。私も頭では子ども優先と考えているつもりなのですが、自分では気付かずに子どもに悲しい思いをさせていることがあるかもしれません。このような時には、親に対して先生は子どもの代弁者として厳しく凛とした姿勢で対応してもらいたいです。「学校では、教師の仕事の8割が家庭のしつけなどのことで、本来の学業や文化を伝えていくことが危うくなっている。生活を整えるところから始まるというのが現状」ということは聞いてはいましたが、実際、入学前学校説明会での朝食や食事のお話、日常生活での挨拶などの指導を聞いていると、このことが事実なのだと思えてきました。また、遠足の時のお弁当作りに対して「ありがとうございます。」には、正直、ありがとうだけじゃなくしょうと反発したい気持ちをもってしまいました。この場合「おいしかった！」「全部食べたよ！」や「見て見て」と空っぽのお弁当箱を見せてくれるなども同じ意味、ようはその子が思った言葉や態度で感謝の気持ちを表現すればいいことで、家庭における普段の生活の中から自然と身に付く言葉・行動なのだと思います。

校長先生を初め、教員の方々の熱心さにはいつも心にひびく物がございます。今後も今までの蓄積を一層発展させて下さい。

子どもや保護者にいつも丁寧な接していただき、感謝しております。

担任の先生ばかりでなく、他学年の先生方も子どもたちの名前を覚えていて下さり、職員室へ行っても ちゃんのお母さんですね、妹さんですねと声をかけていただき、一人一人の子どもをよく見てもらえているという安心感をもっています。少人数ならではのきめ細かな指導をこれからもお願いします。

今年度は学校へ行く機会が多く、先生方とお話しする中で、いつも子どもたちのことを熱心に考えて下さっていることを強く感じました。

一年間子どもと一緒に、教育の方針や人間としての考え方、子どもたちとの付き合い方等、見て来て思うことは、今まで会った事のない愛あふれる教育者で、卒業まで一緒にいたいと願ってしまう程です。大切なこの時期に、先生に受け持って頂けて、本当に良かったとしみじみと思います。心から感謝しています。

3年生から1クラス学級となり、先生のご苦労も大変かと存じますが、ひとりひとりの良い所・がんばる所をきちんと分かって下さって、懇談等でアドバイスいただけるのが、とても心強かったです。卒業まで、1クラス学級が続くと思われ、心配な点もありますが、今の「団結力のある、個性豊かなクラス」が保たれる様願っています。いつもお世話になり、本当に感謝しております。

たくさんの先生方や地域の方々に見守っていただき、おかげさまで楽しい学校生活をおくっています。特に担任の森上先生には、何かと心を配って頂いて本当に感謝しております。苦手なことに対しても、「がんばっていること」をほめて頂いたり、声をかけてもらえることがとてもうれしかったようです。小学校の集団生活を通して、少しずつ自信が持てるようになって、今ではいじけたり、くさったり、かんしゃくをおこしたりということがなくなってきました。

いつも夜遅くまで、残っておられ、ご苦労様でございます。毎日楽しく通わせて頂いております。ありがとうございます。本当に6年間ありがとうございます。

よく先生方の言動で、びっくりするような言葉を耳にすることがあります。先生からすると、なにげない言葉なのかもしれませんが、子供はすごく傷ついていることがあります。怒ったり注意するばかりではなく、何故こうなったか？とか、どういう思いで行動をおこしたかなど、まず子供にきいて頂けたらと思うことがあります。

この学校評価のアンケートで、お書きいただいたようにいつも教職員が丁寧に対応している旨のご意見をいただきます。教職員一同、大変嬉しく、これからもがんばっていきましょうという元気をいただいています。丁寧過ぎるとのご意見もいただいているようですが、社会は大きく変わりました。学校の願いがそのまま家庭に反映されることが難しくなっています。できるだけ小さなことでも、丁寧に対応することで学校と家庭との信頼関係が築けるようにと考えています。

言葉遣いについては、教職員に注意し喚起しておきます。

担任の先生は、日々子供の様子をととてもよく見ていて下さり、どの教職の先生も愛情をもって接して下さっている事にいつも感謝しています。

6年間通い初めは、少人数の学年なので、集団生活の中で学ぶという視点からは、少し物足りなさも感じていました。6年間終わってみると、少人数だからこそその授業内容や、学問以外での体験、経験できることも多くあり、非常にみのり多い小学校生活であったと思います。少人数だからこそ割り当てられる当番、係等の数も多く、そのために学びとれることも必然的に多くなりよかったです。先生方におかれましては、学習面、生活面と多岐にわたりご指導いただき、きめ細かい点までよく見ていただいていると感謝しております。これからも学校生活の中で、多くのことを子供たちに「まかせ」子供たちが学年をまたがって子供たち自身で責任をもってやり遂げる様、見守ってやっていただければ大きく成長していけると思っております。

<行事 など>

10月の「ワイワイカーニバル」と学童の行事「やんちゃフェスタ」が毎年同じ日時で、PTA 役員の時はどちらかをあきらめなくてはいけないのが残念です。日程をずらして頂けたら、とても有り難いです。

学校で開催される「ワイワイカーニバル」の日程に、少し変更の余地がないかお聞きしたかったのですが、毎年「やんちゃフェスタ」というイベントと重なり、子どもたちの楽しみが一つ減ってしまうので、残念に思っています。

来年度 PTA の役員様に伝えておきます。

学習発表会の日にちが、年間予定表と違っていたのですが、変更されたのを知ったのは、月の予定表でした。勤務先の休みが変更できず、もう少し早く変更がある場合は、知りたいです。

授業参観についてですが、高学年と低学年にわかれると2日も仕事を休むのが少し辛いなぁと思います。自由参観であれば問題ないのですが、片方だけ行くことも出来ないのです、出来れば同じ日にあればいいなと思います。

お仕事をもちの保護者の方にとっては、辛い日程というのはよく理解できます。2つに分けているのは、特に懇談会で自分のお子さんのクラスのことについて十分話し合っていたのが、ねらいです。ご理解とご協力をお願いいたします。

運動会の予備日が例年平日であることが多いので、予備日に延期されても家族みんなで応援に行けるように、予備日も土・日など、休日にして頂けたらうれしいです。

現在このようにいただいたご意見をもとに、来年度の行事の最終調整に入っています。

学校季節行事、PTA行事、地域行事、すべての事柄に、大変学校と連結していて、子供たちとの交流も、たくさんあり、親として安心していられることに感謝しています。いつもありがとうございます。

いつも大変お世話にあり、ありがとうございます。子供から聞いて、印象に残っていることは、たて割りグループでの大縄大会です。楽しそうに、その様子を話していました。たて割りでの色々な取り組みは、とてもいいことだと思います。そこから、色々な事を子供たちも学んでくれることと思います。

< 情報発信 >

1年生で子どもと同様、親も分からないことだらけでしたが、お便りやメール配信などで行事や学校のことを（取組など）よく分かりとてもよかったです。

いつもHPを見るのを楽しみにしています。自分の子どもの学年だけでなく、他の学年の活動なども分かってとてもいいと思います。これからも分かりやすく楽しい情報をどんどん発信していただきたいと思います。

HPの更新をいつも楽しみ拝見しております。他学年の取組など、普段情報としてなかなか入ってこない為、大変参考になっています。特に最近では6年生に対しての「携帯電話安全教室」や「税金の話」などとてもよい取組だと感じましたし、親として考えるきっかけにもなりました。

HPの更新を毎日楽しみにしております。休日も含めて「毎日」というのは大変だと思います。先生方のお気持ちに心から感謝致します。

今年度よりメール配信をしていただくようになり、とても助かります。夏休み中の光化学スモッグや雷によるプールの中止など子どもに伝えることができ、助かります。また、緊急の集団下校の時もすぐに連絡が入るので、安心することができました。

HPはとてもよく見えています。子供たちの様子、先生方の取組など簡潔にまとまっていて、とてもわかりやすいです。また、ほとんど毎日更新されていて驚いています。大変なこととは思いますが、楽しみにしていますので、続けていただきたいと思います。

毎日更新されているHP、楽しみに見えています。いつもありがとうございます。子どもたちを第一に考えた教育や安全対策に感謝しています。

室町小学校の教育方針や、先生方については、大変満足をしています。HPや学校だよりでの情報公開を始め、様々な事に取り組んでおられるので、安心しています。

HPでは、みさきの家の時にも、子供たちの様子が見ることができて、安心することができました。子供たちと一緒に見て、学校での出来事を話すきっかけにもなっています。更新作業は、とても大変だと思いますが、感謝しています。

HPは時々見させてもらっています。学校での様子や取り組みがよくわかり、楽しみにしています。

毎日更新されているHPも楽しみにしています。

学校ホームページについても、いつも高く評価していただきありがとうございます。私が教務主任になってから、保護者の皆様に学校の様子が伝わっていないと感じ、ホームページの充実に努めてきました。残念ながらアクセス数100,000件を前に3月16日をもって今までのホームページは消えてしまいます。京都市が全校でCMSシステムを使ったホームページシステムを導入するためです。本当に残念ですが、今までご支援いただき、ありがとうございました。

<部活動>

陸上をがんばって毎日自ら進んで取り組んでいることに、とても家族で喜び、先生方に感謝しています。1ヶ月間、休まずに行くと表彰されることは子どもにとっても「やる気」になっているようです。1日のめりはりもついて体も丈夫になってきており、心身ともによいと思っています。勉強もやる気をもって取り組めるようになり、やらされるより自分から進んでがんばれていると思います。先生方ありがとうございます。

陸上の朝練に行っています。毎日、先生方のご指導大変有り難く感じています。

毎日クラブ活動の取り組みに熱心に指導していただき、とても感謝しております。朝が弱かった子なのですが、陸上に参加する為に毎日、朝早くからリズムよく生活が送れる様になってきました。勉強にもすべてが気持ちよくスタートできるため、とても意欲的に取り組むようになりました。

毎朝の陸上のおかげか体力面でとても自信がついたように思います。「つらい」と感じる事も多いようですが、先生や友達の励ましもあって、続けられたようです。他学年とも、交流できるいい機会なので、このまま続けてほしいと思っています。朝早くから、また休日も、指導して下さいている先生方には大変感謝しています。

部活動の陸上についても、いつも評価していただきありがとうございます。年度当初の多い時には、90名弱の子どもたちが朝8時から、8時30分の30分間、運動場を走っていました。実に3人に1人という割合です。今は少し減って、60名ぐらいになっています。陸上部指導者の一人として、確かに朝早くの、高学年は休日や放課後の練習はきついです。子どもたちのがんばる姿を見て元気をもらっています。主にインターバルというトレーニングをしているのですが、早い子どもは100mを20秒のペースで走り続けます。遅い子どもは30秒です。この間の自分のレベルに合わせてグループに入り、クリアできたらどんどん上がっていきます。低学年もあこがれの高学年目指して、少しでも上のグループに入れるようがんばっています。陸上の朝練習は、室町校の教育活動の大切なものになってきました。

<その他>

～放課後学び教室について～

4年生以降，学童保育がなくなった後，仕事で親が不在の子どもたちが17時頃まで，安心して過ごせるシステムができると聞いています。ますますの充実を願っております。

放課後学び教室の開催が各校で準備されているように耳にするが，室町小学校ではどのような状況なのか知りたいと思います。

来年度の実施に向けて，今準備を進めているところです。放課後学び教室を実施するためには，地域や学生のボランティアの皆様が必要になってきます。ぜひ，誰かお知り合いの方がおられましたらご紹介ください。

記入欄を学年のみにし，無記名の方がいいのではと思います。

前にもお知らせしたように，このアンケートの主旨は保護者の方と学校がいっしょになって，よりよい室町校にしていというものです。したがって，記名が原則になります。

土曜学習を実施されたり，来年度から放課後の対応を考えられたりと色々工夫されている事は素晴らしい事だと思います。人間関係が希薄な昨今，学校という空間で親・子・先生とのふれあいが，子どもの成長に及ぼす影響は図りしれないものがあると思います。先生方もお忙しく大変でしょうが，これからも子どもたちの為，宜しく願います。

食育が言われている現在も，給食時の器がアルミでは味気ないので，陶器に変えてほしい。

近年，私学の小学校も増え，制服や靴，小物など，生徒全員統一されているのを拝見しますと，とても学校のカラーが，子供たちに浸透されているのを感じます。隣の芝が，美しく見える為かもしれませんが，目前に，卒業式等もあり，私服ではなく，中学校の制服で，私達の頃は，参加した記憶があります。早めに制服の大切さも感じてほしい気も最近致します。

以下は，質問項目についての集計結果です。